

平成29年8月30日（水）
第1回さいたま市地域医療構想調整会議
資料2-4

病院説明書の作成について

保健福祉局 保健部 地域医療課

『病院説明書』の趣旨①(病院)

- 地域医療構想に関連し、公的医療機関等には、「公的医療機関等2025プラン」を策定し、地域医療構想調整会議に提示するよう求められている。
- 一方で、本市の地域医療構想の将来推計を踏まえると、病院・病床の機能分化を、公的医療機関か、否かを問わないで、市内の各病院が協調的に役割や機能を分担しながら、連携体制を構築していくことが求められている。

『病院説明書』の趣旨②(市民)

- 医療法では、「国民は、良質かつ適切な医療の効率的な提供に資するよう、医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の連携の重要性についての理解を深め、医療提供施設の機能に応じ、医療に関する選択を適切に行い、医療を適切に受けるよう努めなければならない。」とされている。
- 一方で、医療提供施設の機能を議論する「地域医療構想」は例えば専門用語等を多く含むため、一般的な市民が「理解を深め、適切な選択を行い、適切に受ける」ことは現状では難しいと言わざるを得ない。
- このため、適切な選択に資するような、病院の機能や特徴を平易な言葉で説明をする資料を作りたい。

病院説明書 様式（記載例）

資料 2 - 6

| | | | | | | |
|--|---|------------|-------------|-------|-------|------|
| 病院名 | 医療法人 さいたま会 さいたま市役所病院 | | | | | |
| 所在地 | さいたま市 浦和区常盤 6 丁目 4 番 4 号 | | | | | |
| 病床数： | | | | | | |
| 現在（2017年） | 一般病床 | | | | 合計病床数 | |
| | 170床 | | | | 196床 | |
| 高度急性期病床 | 急性期病床 | 回復期病床 | 慢性期病床 | | | |
| 10床 | 120床 | 30床 | 10床 | | | |
| ↓ | | | | | | |
| 2025年 | 一般病床 | | | | 合計病床数 | |
| | 170床 | | | | 196床 | |
| 高度急性期病床 | 急性期病床 | 回復期病床 | 慢性期病床 | | | |
| 0床 | 80床 | 60床 | 50床 | | | |
| <p>当院は、現在、高度急性期から慢性期までの病床を持っています。 将来的には、回復期病床と慢性期病床を充実し、手術後の患者さんや軽い肺炎等の患者さん等に対する医療を地域に密着して行っていきます。</p> | | | | | | |
| 診療科目：合計4科（内科、泌尿器科、透析センター 等） | | | | | | |
| 平均在院日数：18.9日 | | | 病床稼働率：82.5% | | | |
| 政策 | がん | 心筋梗塞 | 脳卒中 | 糖尿病 | 精神 | 在宅医療 |
| 医療 | 救急 | 小児 | 周産期 | 災害 | | |
| <p>病院の特徴：・救急告示病院として二次輪番体制に参加しています。 ・糖尿病治療に力を入れており、教育入院や食事指導も丁寧に行います。 ・糖尿病に関連する手術も行っています。（透析シャント術、腎切除術など）</p> | | | | | | |
| 特徴的な診療科 泌尿器科 | 泌尿器科の専門医が4名おり、食事療法や運動療法、専門的な内服治療、さらに必要な場合の手術など、糖尿病に必要な治療は全て当院で受けることができます。 | | | | | |
| 特徴的な施設 教育入院室 | 糖尿病を知ってもらうことを目的とする教育入院では、最新のVRを用いたリアルな体験が出来る施設があります。 | | | | | |
| 特徴的なスタッフ 管理栄養士 | 食事指導を行うスタッフとして管理栄養士が6名おり、患者さんの状況に合わせた栄養指導を行っています。 | | | | | |
| 主な紹介元医療機関 | 西区役所病院 | 大宮区役所クリニック | | 岩槻診療所 | | |
| 主な紹介先医療機関 | 岩槻区診療所 | 中央区病院 | | | | |

| | |
|--------------|--|
| 当病院の現状 | <ul style="list-style-type: none"> ・当病院は「患者さんの希望を第1に」が理念です。このため、患者コンシェルジュとして専用の窓口を設け、ご希望やご要望に最大限お答えしています。 ・糖尿病に関する治療は全て当院で対応することが可能です。 ・糖尿病以外の、がん・循環器疾患・脳卒中等については、中央区病院や岩槻区診療所などの地元近隣医療機関等へ紹介等をするなど、連携して対応しています。 ・人工透析器12台を持つ外来透析センターは、ほぼ予約で埋まってしまっています。 ・患者さんのご自宅への定期的な往診等を行っています。 |
| 当病院の未来像 | <ul style="list-style-type: none"> ・病床の稼働状況を踏まえ徐々に慢性期病床を増床し、長期的な治療が必要な方への対応を行っていきます。 ・回復期病床を増床し、リハビリテーション室も拡張した上で専門職のスタッフを増員する予定です。 ・外来透析センターのスペースを拡張し、人工透析器も増設する予定です。（平成32年度改築予定） ・地域への役割として、二次救急医療は今後も継続して実施していきます。また、当院で対応できない医療については、連携体制をとる病院や診療所などへ丁寧に紹介していきます。 |
| 市民の皆さんへメッセージ | <ul style="list-style-type: none"> ・当院は今後も、糖尿病を中心とした医療を継続、充実していきます。 ・当院は、今後も救急医療を行っていきませんが、多くの診療科を持つ訳ではありませんので、必要に応じて他病院等にご紹介することがありますので、ご承知おきください。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、駐車場の拡張工事を行っています。（平成31年終了予定。） |

| | |
|----------------|--|
| 記載内容に関する問い合わせ先 | さいたま市役所病院 医療経営科 問い合わせ担当 電話番号：〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 |
|----------------|--|